

令和 5 年 8 月 1 0 日
企業局 管理部 財務課
043-211-8547

令和 4 年度 企業局の決算見込みの概要について

1 上水道事業

- ・収入の大半を占める給水収益が横ばいの中、電気料金の高騰に伴う動力費の増などにより、
 - ・純利益（消費税調整後）は**39億円**（前年度比 46億円減、54.3%減）
 - ・資金残高は**394億円**（前年度比 65億円減、14.1%減）となりました。
- ・今後も経営が厳しさを増すことが予想される中、老朽化した浄・給水場施設や水道管路の更新・整備などを「中期経営計画」等に沿って計画的に実施できるよう、社会情勢による影響等に留意しながら、健全経営に努めてまいります。

2 工業用水道事業

- ・収入の大半を占める給水収益は安定しているものの、電気料金の高騰に伴う動力費の増などにより、
 - ・純利益（消費税調整後）は**4億円**（前年度比 10億円減、70.1%減）
 - ・資金残高は**359億円**（前年度比 14億円増、4.2%増）となりました。
- ・急務となっている施設の老朽化対策や地震対策を、「施設更新・耐震化長期計画」や「中期経営計画」に沿って計画的に進めていけるよう、健全経営に努めてまいります。

3 造成土地管理事業

- ・収入の大半を占める土地分譲について幕張 A 地区での分譲等により、
 - ・純利益（消費税調整後）は**43億円**（前年度比 16億円増、56.7%増）
 - ・資金残高は**979億円**（前年度比 36億円増、3.8%増）となりました。
 - ・未処分土地は、前年度に比べ、4ヘクタール減少し、令和 4 年度末では**168ヘクタール**になりました。
- 今後も、「経営計画」に沿って保有する**土地の処分を進め、地域経済の発展への貢献**に努めてまいります。

1 上水道事業会計

(1) 決算見込み額

ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R4年度 a	R3年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	給水収益	64,490	64,622	△ 132	△0.2
	給水申込納付金	4,074	4,099	△ 25	△0.6
	長期前受金戻入	7,501	7,585	△ 84	△1.1
	その他	6,506	6,400	106	1.7
	計 A	82,571	82,706	△ 135	△0.2
支出	人件費	6,011	5,965	46	0.8
	動力費	4,748	2,505	2,243	89.5
	修繕費	7,089	6,962	127	1.8
	薬品費	2,828	2,570	258	10.0
	委託料	10,743	9,291	1,452	15.6
	減価償却費	28,320	28,166	154	0.5
	支払利息	1,886	2,046	△ 160	△7.8
	その他	13,256	13,792	△ 536	△3.9
	計 B	74,881	71,297	3,584	5.0
収支差 C=A-B		7,690	11,409	△ 3,719	△32.6
純利益(消費税調整後)		3,894	8,519	△ 4,625	△54.3

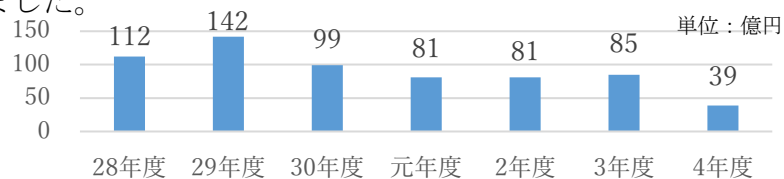
(ア) 収益的収入：前年度とほぼ同程度の 826 億円

- ・給水収益は、企業向け（大口径）の使用水量は増えたものの、家庭用向け（小口径）の使用水量の減などにより 1 億 32 百万円減少

(イ) 収益的支出：前年度に比べ 36 億円増の 749 億円

- ・動力費は、燃料費高騰に伴う電気料金の増などにより 22 億 43 百万円増加
- ・薬品費は、活性炭等の使用量の増などにより 2 億 58 百万円増加
- ・委託料は、料金システム関連業務委託の増などにより 14 億 52 百万円増加
- ・減価償却費は、償却資産の増などにより 1 億 54 百万円増加
- ・支払利息は、償還が金利の高い債権から低い債権に移行していることなどにより 1 億 60 百万円減少

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 46 億円減の 39 億円となりました。



イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R4年度 a	R3年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	企業債	13,000	13,500	△ 500	△3.7
	その他	2,508	3,250	△ 742	△22.8
	計 A	15,508	16,750	△ 1,242	△7.4
支出	建設事業費	44,427	34,945	9,482	27.1
	企業債償還金	12,406	12,048	358	3.0
	その他	280	301	△ 21	△7.0
	計 B	57,113	47,294	9,819	20.8
収支差 C=A-B		△ 41,605	△ 30,544	△ 11,061	△36.2

(ア) 資本的収入：前年度に比べ 12 億円減の 155 億円

- ・ 企業債は、建設事業の執行状況を踏まえ 5 億円減少。

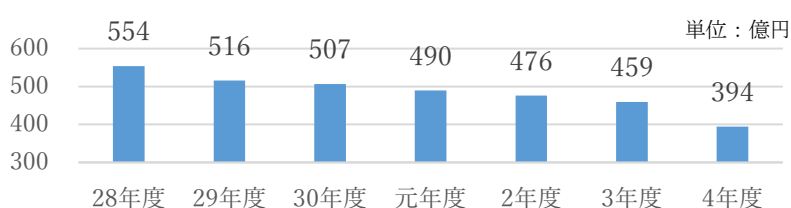
(イ) 資本的支出：前年度に比べ 98 億円増の 571 億円

- ・ 建設事業費は、浄給水場や管路の更新・整備に係る工事の増などにより、94 億 82 百万円増加
- ・ 企業債償還金は、近年における発行額の増により 3 億 58 百万円増加

(ウ) この結果、資本的収支が 416 億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

(2) 資金残高

資金残高は、65 億円減少し、394 億円となりました。



(3) 企業債残高

企業債残高は、6 億円増加し、1,392 億円となりました。



2 工業用水道事業会計

(1) 決算見込み額

ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R4年度 a	R3年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	給水収益等	12,135	12,132	3	0.0
	長期前受金戻入	1,455	1,459	△ 4	△0.3
	その他営業外収益	197	245	△ 48	△19.6
	その他	5	8	△ 3	△37.5
	計 A	13,792	13,844	△ 52	△0.4
支 出	人件費	935	868	67	7.7
	動力費	1,446	765	681	89.0
	減価償却費等	6,144	6,046	98	1.6
	委託料	1,907	1,747	160	9.2
	修繕費	655	645	10	1.6
	その他	1,862	1,941	△ 79	△4.1
	計 B	12,949	12,012	937	7.8
収支差 C=A-B		843	1,832	△ 989	△54.0
純利益(消費税調整後)		436	1,458	△ 1,022	△70.1

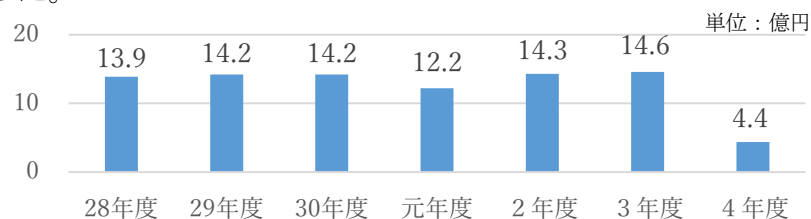
(ア) 収益的収入：前年度とほぼ同程度の 138 億円

- ・給水収益等は、契約水量増などにより 3 百万円増加
- ・その他営業外収益は、配水管撤去工事に係る負担金収入の減などにより前年度に比べて 48 百万円減少

(イ) 収益的支出：前年度に比べ、9 億円増の 129 億円

- ・動力費は、燃料費の高騰に伴う電気料金の増などにより 6 億 81 百万円増加
- ・委託料は、物価上昇による浄水場関連費用の増などにより 1 億 60 百万円増加

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 10 億円減の 4 億円となりました。



資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R4年度 a	R3年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	企業債	69	25	44	176.0
	出資金	3,000	3,000	0	0.0
	国庫補助金	267	333	△ 66	△19.8
	工事負担金等	184	402	△ 218	△54.2
	計 A	3,520	3,760	△ 240	△6.4
支出	建設事業費	4,629	4,438	191	4.3
	企業債償還金	1,985	2,233	△ 248	△11.1
	他会計借入金返還金	850	850	0	0.0
	その他	261	366	△ 105	△28.7
	計 B	7,725	7,887	△ 162	△2.1
収支差 C=A-B		△ 4,205	△ 4,127	△ 78	△1.9

(ア) 資本的収入：前年度に比べ2億円減の35億円

- ・企業債は、霞ヶ浦導水事業費の増などにより44百万円増加
- ・国庫補助金は、対象工事の繰越しの増などにより66百万円減少
- ・工事負担金等は、対象工事等の減により2億18百万円減少

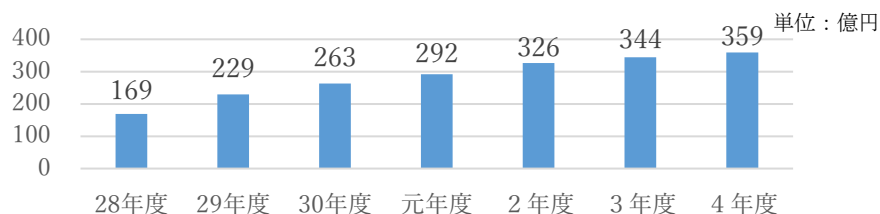
(イ) 資本的支出：前年度に比べ2億円減の77億円

- ・建設事業費は、施設更新・耐震化事業の増などにより1億91百万円増加
- ・企業債償還金は、償還期間の終了などにより2億48百万円減少

(ウ) この結果、資本的収支が42億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

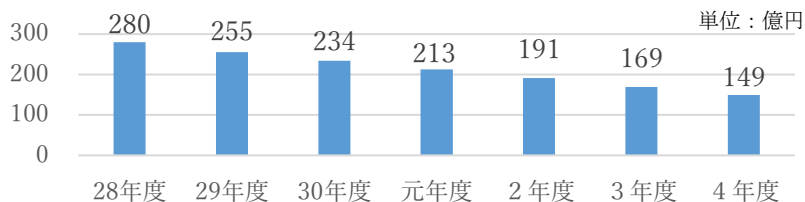
(2) 資金残高

資金残高は、14億円増加し、359億円となりました。



(3) 企業債残高

企業債残高は、20億円減少し、149億円となりました。



3 造成土地管理事業会計

(1) 決算見込み額

ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R4年度 a	R3年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	土地分譲収益	8,879	8,371	508	6.1
	土地貸付収益	2,393	2,433	△ 40	△1.6
	特別利益	430	65	365	561.5
	その他	1,731	1,537	194	12.6
	計 A	13,433	12,406	1,027	8.3
支 出	土地分譲原価	2,625	3,788	△ 1,163	△30.7
	人件費	1,024	1,037	△ 13	△1.3
	修繕費	189	216	△ 27	△12.5
	負担金	2,556	1,513	1,043	68.9
	資産減耗費	61	434	△ 373	△85.9
	特別損失	274	3	271	9033.3
	その他	2,357	2,640	△ 283	△10.7
	計 B	9,086	9,631	△ 545	△5.7
収支差 C=A-B		4,347	2,775	1,572	56.6
純利益(消費税調整後)		4,349	2,776	1,573	56.7

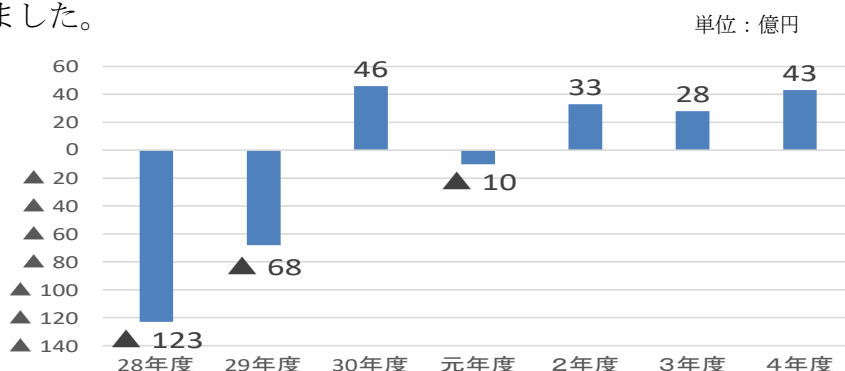
(ア) 収益的収入：前年度に比べ 10 億円増の 134 億円

- ・土地分譲収益は、大口の分譲があったことにより5億8百万円増加

(イ) 収益的支出：前年度に比べ 5 億円減の 91 億円

- ・土地分譲原価は、11 億 63 百万円減少
- ・負担金は、幕張新都心拡大地区新駅設置負担金の増などにより 10 億 43 百万円増加

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 16 億円増の 43 億円となりました。



イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R4年度 a	R3年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	貸付金返還金	955	903	52	5.8
	固定資産売却収入	0	76	△ 76	皆減
	その他	17	6	11	183.3
	計 A	972	985	△ 13	△1.3
支 出	建設改良費	1,073	1,193	△ 120	△10.1
	出資金	3,000	3,000	0	0.0
	その他	7	55	△ 48	△87.3
	計 B	4,080	4,248	△ 168	△4.0
収支差 C=A-B		△ 3,108	△ 3,263	155	4.8

(ア) 資本的収入：前年度とほぼ同程度の 10 億円

- ・ 貸付返還金は、前年度に比べ 52 百万円増の 9 億 55 百万円

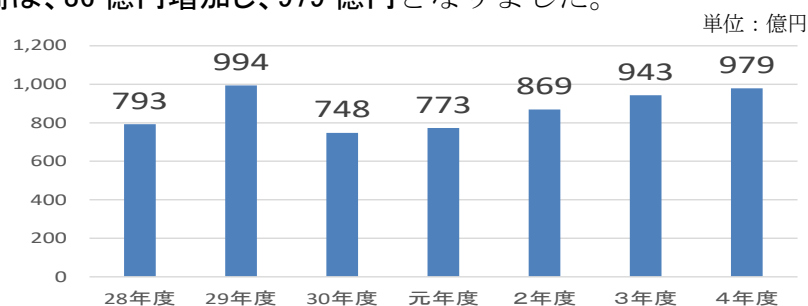
(イ) 資本的支出：前年度に比べ 1 億円減の 41 億円

- ・ 建設改良費は、公益的施設負担金の減等により 1 億 20 百万円減少

(ウ) この結果、資本的収支が 31 億円不足することから、損益勘定留保資金で補てんします。

(2) 資金残高

資金残高は、36 億円増加し、979 億円となりました。



(3) 未処分土地の状況

令和 3 年度末に 172 ヘクタールあった未処分土地は 4 ヘクタール減少し、令和 4 年度末では 168 ヘクタールとなりました。

[参 考]

1 上水道事業会計

(1) 貸借対照表(令和5年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	763,785	負債	固定負債	132,609
流動資産	52,383		流動負債	41,329
			繰延収益	207,530
		資本金・剰余金		434,700
合計	816,168	合計		816,168

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
純利益	11,170	14,204	9,872	8,095	8,076	8,519	3,894
対前年度増減額	2,037	3,034	△ 4,332	△ 1,777	△ 19	443	△ 4,625

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
資金残高	55,392	51,609	50,706	48,997	47,615	45,928	39,456

(4) 企業債残高の推移

(単位:百万円)

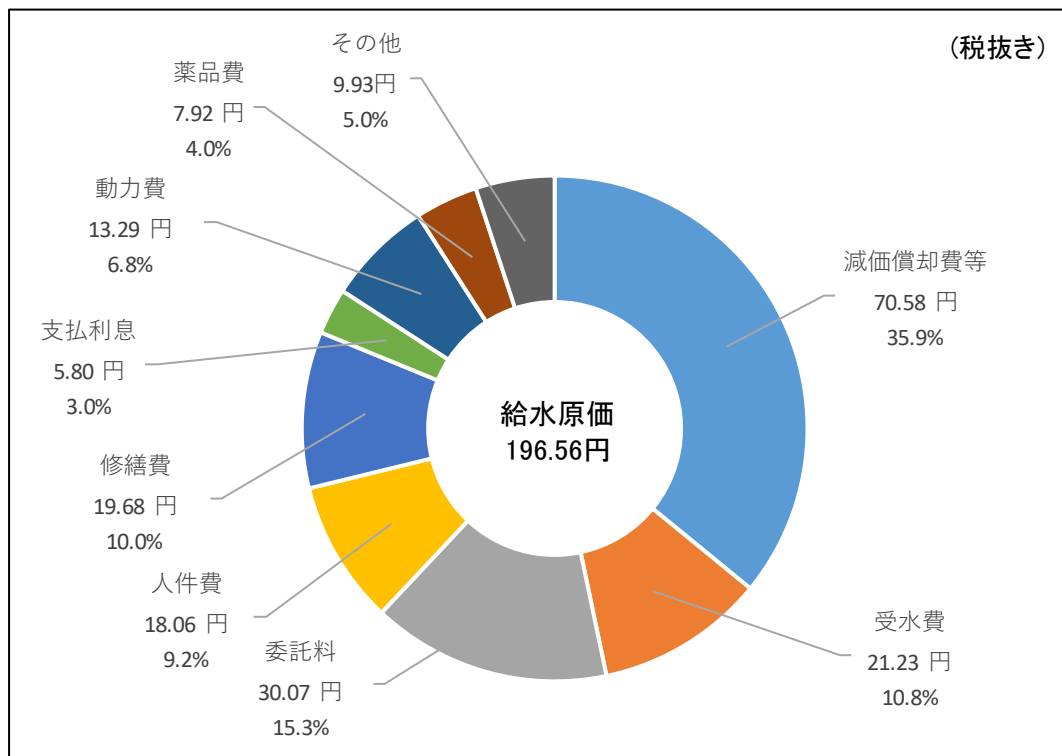
区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
借入額	10,000	8,000	8,000	10,000	12,000	13,500	13,000
企業債償還額	11,486	11,933	12,310	11,072	11,427	12,048	12,406
企業債残高	145,851	141,918	137,608	136,536	137,109	138,561	139,155

(5) 業務状況

項 目	4年度 a	3年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
給水戸数 (千戸)	1,557	1,539	18	1.2%
年間総給水量 (千m ³)	314,255	318,757	△ 4,502	△ 1.4%
有収水量(収入の対象となる水量) (千m ³)	303,879	309,463	△ 5,584	△ 1.8%
有収率(有収水量÷年間総給水量) (%)	96.7	97.1	△ 0.4	△ 0.4%
一日平均給水量 (千m ³)	861	873	△ 12	△ 1.4%
一日最大給水量 (千m ³)	932	960	△ 28	△ 2.9%
供給単価(1m ³ 当たりの売上単価) (円)	195.78	192.63	3.15	1.6%
給水原価(1m ³ 当たりの製造原価) (円)	196.56	179.64	16.92	9.4%
職員数 (人)	947	941	6	0.6%

(6) 給水原価の構成

給水原価は、水道水1m³をつくるために要した費用で、令和4年度は196.56円(税抜き)です。
 なお、上水道事業は、事業運営に係る経費のほとんどを水道料金で賄う独立採算制です。



[参 考]

2 工業用水道事業会計

(1) 貸借対照表(令和5年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	157,240	負債	固定負債	36,888
流動資産	37,684		流動負債	4,863
			繰延収益	36,037
		資本金・剰余金		117,136
合計	194,924	合計		194,924

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
純利益	1,389	1,416	1,424	1,224	1,431	1,458	436

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
資金残高	16,907	22,912	26,306	29,181	32,644	34,420	35,868

(4) 企業債残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
企業債借入額	1,003	446	559	357	53	25	69
企業債償還額	3,937	3,035	2,652	2,379	2,329	2,229	1,982
企業債残高	28,042	25,453	23,360	21,338	19,062	16,858	14,945

[参 考]

3 造成土地管理事業会計

(1) 貸借対照表(令和5年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	472,450	負債	固定負債	3,503
完成資産	50,638		流動負債	4,117
未成資産	0		繰延収益	0
流動資産	98,080	資本金・剰余金		613,548
合計	621,168	合計		621,168

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
純利益	△ 12,300	△ 6,839	4,571	△ 978	3,350	2,776	4,349

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
資金残高	79,256	99,441	74,782	77,333	86,893	94,295	97,875

(4) 未処分土地の推移

(単位:ha)

区 分	平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	4年度
処分面積	65	104	38	2	8	2	4
年度末未処分土地	326	222	184	182	174	172	168